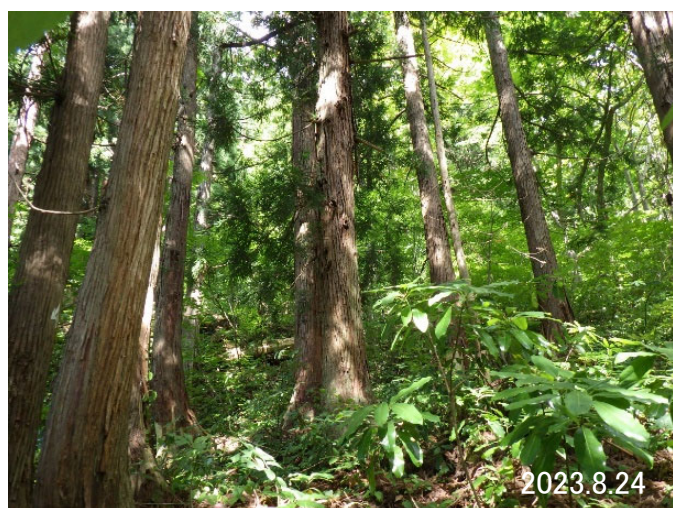


赤谷山スギ遺伝資源希少個体群保護林

希少-55

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 下越森林管理署
所在地	新潟県 新発田市
面積	10.77ha
設定年	1969(S44)年
保護林の概要 (設定目的)	多雪・岩角地域において良好に生育する通称赤谷スギと呼ばれる天然スギ林であり、地域の自然環境に永年順応し、優良な形質を有する樹木の種穂の確保の観点から、林業種苗法に基づく特別母樹・特別母樹林にも指定され、日本海要素東北・北海道型におけるスギの遺伝資源の確保において極めて貴重である。このため、天然スギが群生する群落の希少な個体群を保護するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2008年、2013年、2018年、2023年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、天然スギが比較的多く見られる林分に1か所の調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測および植生の種組成の概要を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	保護対象種のスギに複数のツキノワグマの剥皮等の被害を確認したが、そのほとんどが前回調査時にも確認されている古いものである。現状では枯損にいたるような個体はないが、剥皮の面積は大きいものも見受けられるため、今後も影響に留意し継続してモニタリングを行う必要がある。なお、中低木の個体やスギの実生が確認されており、今後の更新についても問題ないと思われる。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。